

平成30年度第1回小牧市スポーツ推進審議会会議録

1 開催日時 平成31年2月19日(火)
午前9時30分～午前11時05分

2 開催場所 小牧市役所東庁舎5階大会議室

3 出席者及び欠席者

(出席委員) 8名

会長	長尾 英俊	(公財)小牧市体育協会副会長
委員	前田 成明	(公財)小牧市体育協会競技委員長
委員	花井 忠征	中部大学教授
委員	中谷 直	中小体連小牧支所代表
委員	舟橋 巧	小牧南スポーツクラブ役員
委員	杉田 久美子	小牧市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
委員	宮崎 加代	小牧市体操連盟理事
委員	阿南 武光	市民公募委員

(欠席委員) 2名

委員	黒田 真二	名古屋造形大学講師
委員	松浦 昌美	市民公募委員

(事務局)

教育長	中川 宣芳	教育部長	伊藤 武志	教育部次長	松浦 智明
スポーツ推進課長	武市 礼子	まなび創造館長	平岡 麗子		
スポーツ推進係長	長谷川 潤治	スポーツ推進係主事	稲山 眞巳		

(小牧市体育協会)

事務局長	井上 武	事業係長	青山 寿彦
------	------	------	-------

4 傍聴者 0名

5 会議の内容

(1) 会長及び職務代理者の選任

(2) 議題

議題第1号 平成30年度教育委員会点検評価シートについて

議題第2号 平成31年度教育委員会基本方針重点施策について

(3) 連絡事項

平成31年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)について

6 会議の資料

- (1) 平成30年度教育委員会 点検評価シートについて (資料1)
- (2) 平成31年度教育委員会基本方針重点施策について (資料2)
- (3) 平成30年度社会体育予算総括表 (案) 及び主要事業 (案) について (資料3)

8 議事内容

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

只今から、平成30年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を開催いたします。本日の司会進行をつとめます武市です。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開としていますが、本日の傍聴人はありません。

また、本日は、黒田委員及び松浦委員より欠席の連絡をいただいておりますが、8名の委員の方が出席でありますので規定により会議は成立しております。

それでは会議に先立ちまして、前任の委員の任期が7月31日をもって満了となりましたので、新たに当審議会委員としてご就任いただきました皆様から簡単な自己紹介をお願いします。長尾委員から時計回りで順番にお願いします。

(委員が順番に自己紹介)

ありがとうございました。委員の任期は、平成32年7月31日までとなっておりますので、今後共よろしくお願いいたします。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

(事務局が順番に自己紹介)

本日の資料の確認ですが、事前に郵送してあります資料として、「次第」、こちら事前に送付させていただいたものから修正がありましたので、机上にあります次第と差し替えをよろしくお願いいたします。(資料1)「平成30年度教育委員会 点検評価シート」、「(資料2)平成31年度小牧市教育委員会基本方針」、「(資料3)平成31年度教育予算総括表」でございます。

また、机上に置きました委員名簿、オレンジ色の冊子「平成30年度小牧の教育」、白い冊子「小牧市教育大綱 小牧市教育基本計画」、こちらにつきましては、会議終了後に回収させていただきますので、該当部分をコピーしたものを用意させていただきましたのでご利用いただければと思います。お手元の資料に不足はありませんでしょうか。

それでは、最初に、教育長から、挨拶を申し上げます。

[中川教育長]

おはようございます。数年前までは皆様と同じく委員として参加させていただいておりましたが、昨年4月より教育長として拝命いただきましてこちらの立場にならせていただきました。

本日は、大変お忙しい中、本審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

さて、本市では、郷土の歴史を礎に、市民とともに愛と夢、生きる力を育むことを

基本理念とした「小牧市教育大綱」を平成29年3月に策定しております。

この大綱は平成29年度から平成38年度までを計画期間としており、この理念の実現に向けて、基本目標のひとつとして「誰もが参加できるスポーツ活動の展開」を定めております。

本日は、この基本目標を達成するために整理した4つの施策のうち、今年度8月に、パークアリーナ小牧で行われました全国高等学校総合体育大会 女子バスケットボール競技大会の開催をはじめ、平成30年度に重点的に取り組むことと定めた4つの取組みについての点検評価について、皆様からご意見を伺うとともに、平成31年度に取り組む内容に反映させることにより、本市のスポーツ行政の推進を図ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

次に、次第2の会長及び、職務代理者の選任をお願いしたいと思います。小牧市スポーツ推進審議会条例第4条1項の規定により、審議会に会長を置き、会長につきましては、委員の互選によってこれを定めることになっておりますので、互選出をお願いしたいと思います。何か、ご意見がありましたらお願いいたします。

[舟橋巧委員]

長尾委員に、引き続き会長をお願いしたらどうかと思いますがいかがでしょうか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ただいま、舟橋委員から長尾委員をお願いしたらいかがかと、ご発言がありましたが、これにご意義ありませんか。

(委員から異議なしの発言)

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

それでは、長尾委員に会長をお願いしますので、席の移動をお願いします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

それでは、長尾会長よりごあいさつをいただきます。

[長尾会長]

今、ご推薦をいただきましてこのような大役を務めさせていただくことになりました。皆様方のご協力の中で、上手く進めていけたらと思います。

先ほど、教育長様からもありましたとおり、基本目標「誰もが参加できるスポーツ活動の展開」という大きな目標でございますが、市民ひとりひとりが、それぞれの年齢や立場の中で週に1度は何か体力づくりをしていこうと思うような事業を進めていけたらという気持ちであります。ご協力をよろしくお願いいたします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ありがとうございました。次に職務代理者につきましては、規定により会長が指名となっておりますので、会長からご指名をいただきたいと思っております。

[長尾会長]

それでは、職務代理者を舟橋巧委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(委員から異議なしの発言)

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

それでは、舟橋巧委員が職務代理者に選任されました。

また、議事録署名人は、宮崎委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。それでは、次第3の「議事」に移ります。「議事」の進行につきましては、規定により、会長が会務を総理することになっておりますので、長尾会長、よろしくお願ひ致します。

[長尾会長]

それでは、議事に入ります。

議題第1号 「平成30年度教育委員会 点検評価シートについて」、を議題とします。議事の進め方ですが、事務局から点検評価シートについて、4件を一括して説明していただきます。その後、1件ずつ委員からご質問やご意見をいただきたいと思ひます。今回、委員の皆様から頂いた意見は、審議会の意見として、小牧市教育振興基本計画推進会議・評価委員会に提示することになります。それでは、事務局から説明をお願いします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(議題第1号を資料に基づき概要を説明)

[長尾会長]

事務局から説明が終わりました。

始めに、「スマートフォン用アプリ「alko」を活用したバーチャルウォーキング大会の開催」の点検評価シートについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

[中谷委員]

まず、アルコというアプリ自体がユニークであり今どきのものであると思ひますし、それを使ったヴァーチャルウォーキング大会については、実際に一同に会さなくてもこれだけの人数が参加できるというのは素晴らしいことであり、しかも平成30年度開催については昨年度よりも参加人数も増えていることから大いに意義のあることだと捉えております。1点質問ですが、課題に上げられているスポーツの取組み率が低い40代女性とあるが、この根拠データはどこのものでしょうか。同じく親子スポーツ教室の開催の資料におけるスポーツ実施率が特に低い20代、30代の女性とありますので、同じ調査のものかと思ひますが、この調査の結果の状況をお聞かせください。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

こちらのデータの根拠についてですが、市が毎年行っております市民意識調査のデータであります。平成30年に行いました調査結果によりますと、全体としては、週に1度以上スポーツを行っている成人は46.4%となっております。こちらを性別や年代別で分けていった場合、20代の女性が22.2%という一番低い結果となっております。次に30代の女性が24.7%、その次が40代の女性で33.5%となっておりますいずれも低い数字となっております。逆に高い数字数値については70～

74歳代の男性が70.6%という非常に高い数値となっております。

[長尾会長]

今の市民意識調査の調査対象は具体的にどういった方が調査対象ですか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

こちらは、18歳以上の市民対象者3,000人を無作為に選定して調査したものになります。平成30年は3月に調査を行っております。このデータはホームページでも公開しております。

[宮崎委員]

今の年代別の女性について、個人的な意見ですが、親子体操を行っているので、30代～40代の女性が多くいらっしゃいます。妊娠や出産の時期ということもあり、特に運動やスポーツに取り組もうということがなかなかできないんです。ですので、この資料にあるような「親子で」という形でしか参加できない方が多いと思います。

[長尾会長]

現実の問題として、今言われたことがあるということですね。それを、親子というワードがカバーする状況になっているということですね。

他にご意見はありませんか。

[花井委員]

アルコのヴァーチャルウォーキング大会について、非常にユニークな取組みで、参加人数も増えており素晴らしいことだと思います。この増えた方について、昨年参加した約1,200名はリピーターでしょうか、それとも完全に新規の方が多いのでしょうか。また、参加者の約1,600名についての年齢層の偏りはあるのでしょうか。あるのであれば、バランスよく案内していくことが重要になると思います。

それと、大会参加の上位の方々がこれに取り組むとどういった健康状態になるかの情報発信などはされているのでしょうか。そのあたりの情報発信もしていただくことにより参加者が参考にして取り組もうという方が増えるかもしれないと思います。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

まず、リピート率についてですが、大会の目的としてアルコを日常的に使っていただくためのきっかけづくりとしております。大会開催前のダウンロード数が6,350人だったものが、大会周知PRなどにより6,863人の500人程度、新規でこのアルコの登録が増えております。アルコの登録は増えておりますが、数字を見ていただくとわかり、アルコの登録者数が増えていてもすべての方が大会に参加しているわけではありません。

リピートについての、細かい精査はできておりませんが、大会前から大会にかけて新規でダウンロードしていただいた約500名の内、大会に参加された方が248人、ダウンロードしたけれど参加しなかった方が265人となっております、約半々となっております。

また、年代性別についてですが、一番参加者が増えたブロンズコースの中で一番参加者が多いのが40代女性で15.3%、次が50代男性が13.8%、40代男性

が12.0%となっており、各年代についても10%以下でバラついており、特に偏りがあるというわけではありません。

最後に、上位の方の取組み効果の情報発信についてのお尋ねですが、大会終了後にアンケートをとっております。参加したきっかけとしまして、「毎日継続して歩き続ける励みになる」という回答が一番多く50%近くとなっております。また「自分がどれだけ歩けるか試してみたかった」という回答が約18%となっております。それから、「今後も続けようと思う」という意向の方が98%いらっしゃいますので、大会の結果がこういった継続意向に結びついているのではないかと考えております。上位の方々がこういった健康状態かまでは分析できておりませんが、アンケート結果によると、継続していくきっかけとなっているという回答を得られております。

[花井委員]

ありがとうございます。参加者が各世代で1割程度でバラけており、非常に上手に案内ができていないかと思えます。働き世代を含め、まだまだ市民に浸透させてもらえれば、より小牧市のユニークな取組みとして面白い活動になるのではないかと思います。

[阿南委員]

先ほどから、お話を伺ってございまして、年代別のスポーツの取組みについて、20代30代が低いというのは宮崎委員がおっしゃられた通り子育て世代であることかと思えます。40代が高くなるのは、子育てが終わり、手が離れてスポーツに取り組もうという方が多いからだと思います。私の会社の経験で言いますと、40代でスポーツをはじめると50代～60代とスポーツを続けられて非常によい結果が出ているのではないかと考えております。実際に私も健康体操に週2回ほど行っておりますが、女性の割合が非常に多いです。40代からスポーツに取り組むことによってスポーツを継続し、健康になることで医療費の削減にもつながると思うので、こういった取組みは非常によいことだと考えます。

[舟橋委員]

達成状況にノルディックウォーク講習会でのPRとありますが、その効果はどの程度あったのでしょうか。

[事務局]（武市スポーツ推進課長）

ノルディックウォークについては、2本のポールを使った全身運動であり平成25年度から市で推進しております。定期的に年2回の講習を行っておりまして、平成30年については4月と10月に開催しており、アルコのPRを行いました。参加者につきましては、定員の60名に対して22名と、講習会の参加者となると少し少ない結果となりました。

[杉田委員]

ノルディックについては、同好会として100名以上のメンバーが集まっております。メンバーの健康意識が高いため、これからもPRしながら少しでもスポーツをする体制にもっていったらと考えております。

[長尾会長]

次に、「親子スポーツ教室の開催」の点検評価シートについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

[宮崎委員]

第1期の参加者が少ないとのことですが、参加者のお母様からの意見として、開催される時期が新学期と重なっているため、お子様が新学期に慣れ、生活環境が整うまで申し込めないという意見があるそうです。ですので1期の参加者が少ないのではないかなと思います。

[事務局] (平岡まなび創造館長)

今、委員がおっしゃられた意見は事務局としても感じておりまして、開催時期をずらしたらどうかということを検討しております。新学期のこともありますし、学校のイベントも前もってわかりにくい部分もあるため、後ろに時期をずらせないか検討しております。

[長尾会長]

以前、児童館に縁があって務めさせていただいていましたが、児童館でやっていたリトミックも同じような親子での取り組みかと思えます。保健センターでやられている子育て支援も同じような取り組みかと思えますが、そういったこともイメージしながら、何か他にご意見はありませんでしょうか。

[宮崎委員]

こちらもお母様方の意見なんですけど、安全面の関係もあるかもしれないですが、参加条件について保護者1名に対して子ども1名という条件だと、どうしても子どもが2人いたりすると参加できない。という意見を聞いています。

[事務局] (平岡まなび創造館長)

委員がおっしゃる通りで、私もその点がすごく気になりまして、業務委託をしておりますので、業者に確認はしましたが、面倒が見られないという回答でした。それと合わせまして、まなび創造館については、他よりも受講料が高いということがあり、その点も含めて検討できないかと考えております。

[前田委員]

こちらは、何回でも受講できるのでしょうか。

[事務局] (平岡まなび創造館長)

スポーツ推進課と同じ条件ですが、新規の方が優先で参加していただきます。定員より多くの応募があった場合は、まず新規の方を優先して決定し、それ以外の方で残りの枠の抽選を行います。

[長尾会長]

なるべく、事業を広めていくという考えで、同じ方というよりは新規の方を優先といった考えということでしょうか。

[事務局] (平岡まなび創造館長)

始めるきっかけということで行っております。

[長尾会長]

次に、「パークアリーナ小牧を活用した大会の開催」の点検評価シートについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

[花井委員]

私も、バスケット関係者として本当によい大会にさせていただき、ご苦労様でした。ありがとうございました。昨年の審議会でも話題になっていたことですが、アクセスの問題について大きなトラブルなどはなかったでしょうか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

今回の大会については、資料にありますとおり、来場者数が延べ約5万人で男子バスケットボールの一宮市と合わせて過去最大の来場者となりました。昨年、委員からご意見のありました駐車場問題につきまして、小牧駅からのシャトルバスの運行、周辺企業への協力依頼、また市内公共施設を臨時駐車場として利用することにより大きな混乱なく運営することができました。

[花井委員]

選手を送迎するバスなどの遅延などはなかったですか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

選手のバス及び一般来場者との駐車場を区別するなどをして、選手のバスがスムーズに入れるよう配慮したため、遅延などはありませんでした。

[花井委員]

ほとんどの大規模大会で遅延はあるので、小牧市は素晴らしい運営をしていただきました。ありがとうございます。

[宮崎委員]

意見というか感想ですが、パークアリーナの近くに住む方々が、大きな混乱がなかったということと、高校生を乗せたバスに手を振ると手を振り返してくれて、とても皆さん喜んでいたということ、そしてこういった大きな大会が開催されたのはすごく嬉しいと喜んでいてということをお聞きしました。

[長尾会長]

こういった大きなイベントがあると、ゴミがたくさんあったなどのクレームの方が目立つが、地域の皆さんに喜ばれるということはすごくいいことですね。

[中谷委員]

このような大きな大会を運営するのは非常に大変なことだと思いますし、色々な方々が大変多く携わって成功したものだと思います。一方で、この課題や方向性にある通りだと思います。この基本目標は「誰もが参加できるスポーツ」ということで、このような大きな大会が直接的にそれに結びつくのか、苦勞も多い大会運営によってその目的にどれだけ近づけるかが非常に疑問に残ります。全部を否定するつもりは全くありませんが、費用もかかることなのでここに書いてあるとおり、バランスを十分考慮して検討していくことが重要だと考えます。

[長尾会長]

この全国大会を聞くと、昔に小牧で開催された全中の卓球を思い出します。卓球の全国大会を開催することにより卓球を通したスポーツ活動に期待する、今回のバスケットボール大会を誘致したことによりバスケットボールを通して、市民がスポーツ意識の向上につなげるなど、今後を期待して、まだまだこれからのことかなと思います。

[前田委員]

私も水泳競技を50年以上やってきた身として、やはりこういった全国大会を身近で見られる機会というのはなかなかないので、費用がかかるなどの部分もあるかもしれないが、若い人達にとっては必要なことだと感じます。

[長尾会長]

最後に、「こども夢・チャレンジカップU-12事業の実施」の点検評価シートについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

[宮崎委員]

課題について、観覧者数や知名度の向上が見られずとあり、これは今年の課題でも挙がっていたと思いますが、何か改善がされたのでしょうか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

いきなり観覧者数や知名度を上げるのは難しいため、協賛企業に対する価値をどういったところに求めていくのかを話し合いさせていただきました。その中で、子ども達の喜びの声を企業に伝え、そうすることによって企業も地域貢献できたところを感じられるような部分を増やしていきたいということで、ホームページによる協賛企業の掲載や、お礼状を送付するなどの改善を行いました。

[長尾会長]

そもそも、こういった経緯でこの大会が始まったのでしょうか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

経緯としましては、ACミランサッカースクールがパークアリーナ小牧を活動拠点とすることが発端となっております。その当時は、海外サッカースクール自体も珍しい状況でしたので、チャンスと捕らえ海外サッカークラブを招待して、小牧の子ども達と交流する大会を開催することにより、知名度UPを目的としてスタートしたと聞いております。

[長尾会長]

サッカー協会との連携はどのようにしていますか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

実行委員会にも入っていただき、大会当日も審判などで運営に携わっていただいております。

[花井委員]

小牧市内にはクラブチームは他にあるのでしょうか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

民間も含めすべてを把握しているわけではありませんが、ほとんどの小学校区ごと

にジュニアクラブなどのサッカークラブはあると聞いております。

[舟橋委員]

参加チーム数は10チームに増えており、試合数が増えれば観覧者数も増えると思うが、そのあたりの状況はどうなっていますか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

平成30年度については、2日間で延べ1,200名となっております。

[長尾会長]

この大会は屋外の会場で、入場料をとっていないですね。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

はい。

[長尾会長]

では、観覧者数といっても概算の数字ということでしょうか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

はい。

[長尾会長]

他に何か全体を通してご意見などありませんでしょうか。

[花井委員]

先ほどの話に戻りまして、親子スポーツについてですが、小学生の愛知県男子が5～6年連続最下位、女子も2年連続最下位だったと思います。これは、小学校になってからというよりは幼稚園を含めて取り組まないと改善されない。私が携わっている日本発達学会で幼稚園5歳の運動能力を調べて、その子達の4歳3歳の頃がどうだったのかを調べてみると、完全に2層化しています。入口の段階で低い子はやっぱり低く幼稚園を出ていく。これを小学生にも当てはめると、なるべく早い段階で成長させて欲しいという話になります。さらに、その前ですね。いかに運動遊びにかかわっているか、かかわっていないか。明確なデータが出ているわけではないのですが、やはりかかわっている子の方がよくなります。是非、未就学児の段階で非常にニーズとしても高いものですから、先ほどリピーターが難しいよといった話が出てましたが、リピーターも含めたプログラムで検討していただけると、小牧の子ども達が就学した以降でもある程度維持ができるのではないかなと思います。

[宮崎委員]

今の、お子様達は、すごくお稽古事が多くてとても忙しそうに感じます。英会話やスイミングやピアノなど、オムツをまだしている時期からたくさんのスケジュールだなと感じており、お稽古事が低年齢化していると思います。本当は子どもは自由に遊ばせたほうがいいと思うんですが、これがどのように影響するのかなと思っています。

[長尾会長]

お母様たちの価値観の多様性とかニーズの方向性などが変わってきているのかもしれないですね。

先ほども少しふれましたが、色々な場面で親子関連の取組みがあると思います。で

きることならば、そういった取組みを一括で掌握できる部署というか、実態を把握できるような環境があるといいなといつも思っております。児童館など、他でもここには上がっていない、取組みがたくさんあり、それを実態把握できるといいなと思っております。

それでは、議題第1号「平成30年度教育委員会 点検評価シートについて」は、委員の皆様のご意見をお聞きいたしましたので、事務局で委員の意見をまとめていただき、私が確認して審議会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(委員から異議なしの発言)

[長尾会長]

ありがとうございます。

つづきまして、議題第2号「平成31年度教育委員会 基本方針重点施策について」、を議題とします。それでは、事務局から説明をお願いします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(議題第2号を資料に基づき概要を説明)

[長尾会長]

事務局から説明が終わりました。何かご意見・ご質問はございませんか。

(委員から質問は特になし)

[長尾会長]

何もないようですので、本日の議事はすべて終了いたしました。進行を事務局にお返しします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ありがとうございました。

続きまして、次第4の連絡事項について事務局から説明いたします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(連絡事項を資料に基づき概要を説明)

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

何かご質問はございませんか。

(委員から質問は特になし)

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。